

5年間の

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会
— 設立5周年記念 —
平成28(2016)年～令和2(2020)年



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会





≡ 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 会長のご挨拶

妙高戸隠連山国立公園は、新潟県と長野県の県境に位置し、糸魚川市・妙高市・長野市・小谷村・信濃町・飯綱町の2県6市町村にまたがり、平成27(2015)年3月に上信越高原国立公園から分離独立して新しく誕生した国立公園です。里や高原から火山・非火山の個性的な形の山々を一望できること、山岳信仰など歴史文化が息づく場所や、湖・池・湿原などが存在することが魅力の一つとなっております。

平成28(2016)年に、本公園の自然環境保全と利用推進を地域関係者が協力して取り組んでいくことを目的として、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」が発足しました。本協議会では、国立公園のビジョンや管理運営方針、行動計画を地域関係者の皆様と共に策定し、各種取組を進めて参りました。

これまでに、協議会ホームページの作成、火打山周辺に生息するライチョウ保全の取組、本公園のサイン統一デザイン基準の策定、ロングトレイルの検討、本公園統一イベントの実施、オフィシャルパートナーシップの検討などを行ってきました。

令和3(2021)年10月には検討を進めていたロングトレイル「あまとみトレイル」が一部開通し、また、分離独立した本公園を代表する施設となる妙高高原ビジターセンターを環境省直轄で新設し、令和4(2022)年4月にオープンする予定となっております。

今後も、本公園の基本理念である「温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ」を念頭に置き、本公園の魅力を多くの人々に広め、地域の活性化につながる取組を地域関係者の皆様との協働で進めていきたいと考えております。



環境省 信越自然環境事務所 所長
堀内 洋



「妙高戸隠連山国立公園 連絡協議会 5 年間の歩み」 について

もくじ

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会は、関係者が協働型の管理運営を実施することによって、当国立公園や関係が密接な周辺地域の保全および利用を促進することを目的に平成28(2016)年に設立されました。

協議会設立から5年が経ち、これまでの地域の皆様との様々な取組について振り返り、共有すること、また今後取組が一層促進されるよう、協議会外部の地域の方々に向けて、当国立公園や連絡協議会を紹介し、その魅力や役割について理解を深めていただくことを目的に、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会5年間の歩み」としてまとめました。

Page

01	妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 会長のご挨拶
02	「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 5年間の歩み」について
03	構成員の市町村長からのご挨拶
09	構成員の有識者からのご挨拶
11	妙高戸隠連山国立公園と 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会
13	妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の歩み
15	妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の概要
17	妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 協働の成果
17	・ビジョン、管理運営方針
18	・同 行動計画
19	・同 誕生記念イベント
20	・同 生物多様性保全
21	・同 良好な景観形成
22	・同 サインの統一
23	・同 登山の活性化
24	・同 多様なエコツアーの推進
25	・同 ガイドの育成、情報発信
27	・同 あまのみトレイルの設置
29	妙高戸隠連山国立公園の主な見どころ



Message 糸魚川市長挨拶



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が発足5周年を迎えましたことは、当市といたしましても大きな喜びであり、日ごろから当国立公園の保全・管理にご尽力いただいている関係者の皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

当糸魚川市は、平成21(2009)年に日本で初めてユネスコ世界ジオパークに認定されており、妙高戸隠連山国立公園には、日本百名山の雨飾山や火打山、活火山である焼山など、特徴的な山々がそびえ立ちます。また、山麓には豊かな自然が広がっており、砂防えん堤や温泉など、大地と人のつながりを感じることができる場所が数多くあることから、登山やトレッキングなどの観光はもちろんのこと、教育や防災、地域振興など様々な活動がジオパークを通じて行われております。

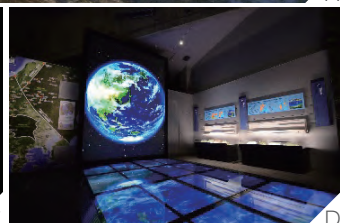
現在、本協議会においても活発な意見交換が図られているところでありますが、これからも更なる国立公園全体の魅力アップに向けた取組を期待するところであります。

当市も、今後ともこの素晴らしい自然を次世代へつないでいくため、国や県、関係団体などと引き続き連携・協働しながら、持続可能な取組を進めてまいりたいと考えております。



糸魚川市長
米田 徹

新潟県 糸魚川市 Itoigawa City



- A：冠雪の新潟焼山
- B：明星山と高浪の池
- C：国石ヒスイ
- D：石の博物館 フォッサマグナミュージアム
- E：海の幸 ベニズワイガニ

糸魚川市は、新潟県の最西端に位置する、国内随一のヒスイ産地である「石のまち」です。平成21(2009)年に「糸魚川ジオパーク」が日本初の世界ジオパークに認定され、教育旅行など、大地を通じて文化・歴史を楽しく学ぶことができます。

新潟県最高峰である小蓮華山(2,766m)や日本百名山の一つである雨飾山を有しているほか、豊かな自然がもたらす海の幸が豊富で、ベニズワイガニやあんこうなどが名産となっています。

糸魚川市

- ・面積：746.24 km²
- ・人口：40,529人
- ・世帯数：17,216世帯
(令和4年1月1日現在)





「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」の発足から5年を迎えました。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染拡大が日本経済に大きな打撃を与え、予断を許さない状況ではありますが、コロナ禍で、これまで以上に健康と自然志向(アウトドア)のライフスタイルへの関心が高まって、特に「自然、環境、旅、健康、学び」に関する分野では、「歩く」のみから、「歩く旅」へと、人々の思考や行動が変容していくものと考えております。

そのような中、これまでの取組の完成形としてロングトレイル「あまともトレイル」の開通を無事迎えることができ関係各位の皆様には、感謝申し上げます。

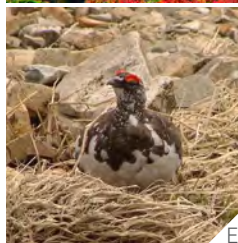
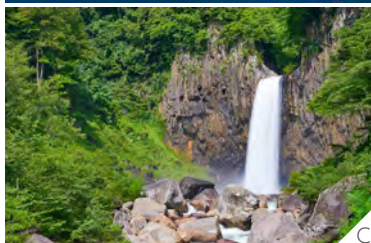
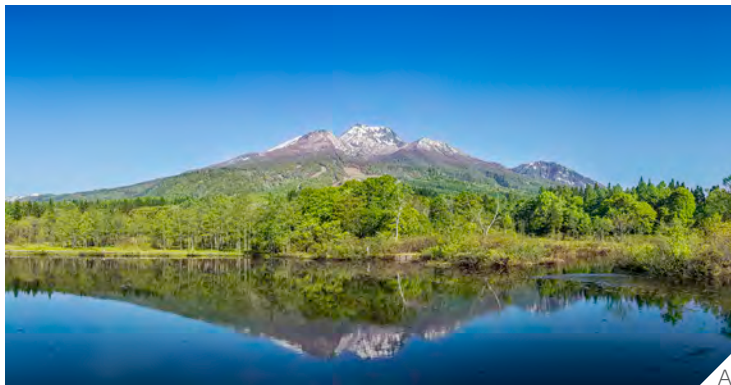
本来、自然環境の適正利用による観光活性化は目標の一つでもあることから、海外からの多くの人々を惹きつける重要なファクターに成りえるものであり、このロングトレイルの開通は、新たな妙高市の魅力になるものと確信しており、インバウンド復活の起爆剤として多いに期待しているところであります。

最後になりますが、このロングトレイルを通じて、この地域を訪れる旅行者、多くの地域の皆様との交流が生まれ、新潟県と長野県をまたぐマウンテンフィールドの輪が大きく広がっていくことを願っております。



妙高市長
入村 明

新潟県 妙高市 Myoko City



- A: いもり池 (春)
- B: 高谷池
- C: 苗名滝
- D: 燕温泉 (河原の湯)
- E: 「国立公園妙高の鳥」であるライチョウ

妙高市は、雄大で四季折々の自然景観の変化に富んだ妙高戸隠連山国立公園に属し、日本百名山である妙高山、火打山のほか、国立公園内外に広がる9つのスキー場があり、妙高山麓一帯から湧き出る7つの温泉地を有する妙高高原温泉郷は、他地域に誇れる地域資源です。また、妙高山麓の豊富な雪どけ水は、良質な米や美味しい酒、山菜などの魅力ある食を生み出し、妙高市の観光産業を支えています。

妙高市

- ・面積: 445.63 km²
- ・人口: 30,846人
- ・世帯数: 12,374世帯
(令和3年12月31日現在)



Message 長野市長挨拶



妙高戸隠連山国立公園に指定されている戸隠・飯綱地区は、豊かな自然とともに、幾星霜を経た人々の営みが育んだ歴史と文化に彩られたエリアであり、市民に憩いの空間を提供するとともに、多くの観光客を魅了しています。

平成28(2016)年に協議会が設立されて以来、本市では、観光協会などとともに、戸隠森林植物園や飯綱高原大谷地湿原における外来植物の除去などの植生の保全活動や、定期的な自然観察会の実施による自然に親しむ機会の提供などにより、この地域の魅力の向上と発信に取り組んでまいりました。

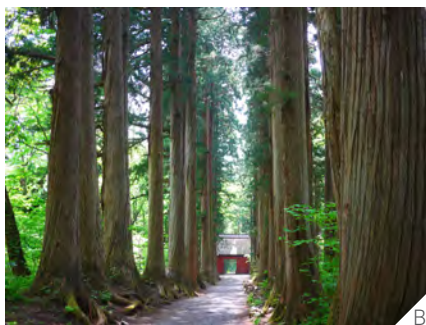
また、今年度開通しました「あまとみトレイル」は「日本一の自然と文化の遊学舎(まなびや)を目指すこと」を目的に進められてきた事業であり、妙高戸隠連山国立公園における魅力の核となることと期待をしております。

引き続き、関係の皆様と更なる連携を深めながら環境の保全・整備に努めることにより、当地区の優れた自然環境を自信を持って後世につないでまいります。



長野市長
荻原 健司

長野県 長野市 Nagano City



- A：長野市のシンボルである国宝「善光寺」
- B：戸隠神社奥社参道に続く樹齢約400年の杉並木
- C：飯綱高原にある飯綱山と大座法師池
- D：桜の名所としても知られる松代城跡
- E：善光寺表参道のイルミネーション

長野市は、長野県の北部に位置し、千曲川や犀川が流れ、戸隠連峰などの山並みに抱かれた長野盆地にあります。

国宝である善光寺本堂を始め、武田信玄と上杉謙信が幾度も戦った川中島古戦場、真田十萬石の城下町である松代や、日本三大そばの名産地であり、戸隠神社奥社参道の杉並木が有名な戸隠など、豊かな歴史・文化と自然に彩られたまちです。

また、平成10(1998)年の長野オリンピック・パラリンピックの開催都市として世界的にも知られています。

- ・面積：834.81km²
- ・人口：371,749人
- ・世帯数：163,361世帯
(令和3年12月1日現在)

長野市





信濃町の属する妙高戸隠連山国立公園は、平成27(2015)年3月に上信越高原国立公園から分離独立して誕生しました。国立公園信濃町地域にはナウマンゾウ発掘の地としての野尻湖、また別名

「信濃富士」とも称される黒姫山を有するなど、四季を通じて多くの方に親しまれて参りました。

平成28(2016)年7月の妙高戸隠連山国立公園連絡協議会設立以降、構成自治体の皆様と共に連絡協議会に参画して参りました。国立公園における様々な活動の一つとして、町内を經由するロングトレイル区間は、古代山岳信仰の山々を結び歴史や文化に触れる区間、また野尻湖を森の木々の間から眺めながら進む区間など、山と水辺を織り交ぜた変化に富むルートとなっています。

今後は、脱炭素・SDGsにも対応し、国立公園の魅力を高める活動を持続可能な形で利活用を図って参ります。また、国や県、連絡協議会の皆様と連携を深めながら次世代へとつなぐよう関係団体、地域住民の皆様と共に取り組んで参りたいと考えております。



信濃町長
横川 正知

長野県 信濃町 Shinano Town

信濃町は、長野県の北端に位置し北に妙高山を背にして、西に黒姫山、南に飯綱山・戸隠山、東に斑尾山と北信五岳に囲まれ、妙高戸隠連山国立公園の一環として風光明媚な高原盆地帯にあります。

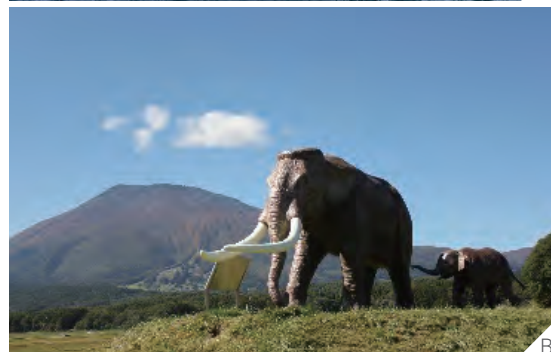
花静かなる田園の広がる自然を始め、お米やそば、トウモロコシ、トマトなど大変おいしい農産物に恵まれています。

ナウマンゾウなどで知られる野尻湖湖底発掘や俳人小林一茶の生誕、終焉の地であり、信州の児童文学やドイツの文学者ミヒャエル・エンデの資料を展示した黒姫童話館、四百年以上の歴史をもつ信州打刃物の里、北国街道の交通の要所でもあり歴史と文化が息づく町です。

- | | |
|--------------|--------------|
| A：夏の野尻湖 | D：コスモス |
| B：黒姫山とナウマンゾウ | E：伝統工芸品信州打刃物 |
| C：野尻湖花火大会 | |



A



B



D



E

- ・面積：149.3km²
- ・人口：7,938人
- ・世帯数：3,351世帯
(令和3年11月30日現在)

信濃町



Message 飯綱町長挨拶



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が平成28(2016)年の発足から5年を迎え、これまでの取組の歩みを振り返る「妙高戸隠連山国立公園協議会5年間の歩み」を冊子としてまとめるにあたり、構成する2県6市町村の一員として関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれてきた自然と文化があります。これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかけることでより良い国立公園として後世につないでいかなければなりません。

登山やスキー・サイクリングなど、自然を利用した遊びの場として、また四季折々の日本らしい風景、おいしい農産物と郷土食など心身を癒す保健休養の場として、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、これからも国や県、関係市町村との連携を深めながら、関係団体、地域住民の皆様方とともにきめ細やかな国立公園づくりに取り組んでまいりたいと考えます。



飯綱町長
峯村 勝盛

長野県 飯綱町 Iizuna Town



- A : 水田と飯綱山
- B : 飯綱東高原（霊仙寺湖）
- C : 丹霞郷（桃の花）
- D : 高坂林檎（和りんご）
- E : 水芭蕉（むれ水芭蕉園）



飯綱町は長野県の北部に位置し、飯縄山から斑尾山までの穏やかな丘陵地にあります。豊かな自然と清らかな水を活かした農業が基幹産業で、特に全国1%のりんご生産量を誇る一大生産地として、良質で多品種のりんごを生産しています。

また、飯綱東高原の日帰り温泉を中心に、スキー場、キャンプ場など年間を通じて多くの観光客が訪れます。

- ・面積：75.00 km²
- ・人口：10,713人
- ・世帯数：4,220世帯
(令和3年12月31日現在)

飯綱町





小谷村は長野県の最西北端に位置し、東山山地が妙高戸隠連山国立公園に指定されています。小谷温泉、雨飾山、鎌池など雨飾高原は小谷村を代表する景勝地で、まさにこの国立公園のビジョンとなっている言葉の通り、春夏秋冬鮮やかな色を楽しむことができる場所でもあります。

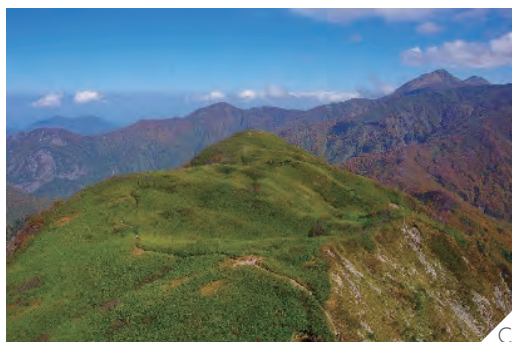
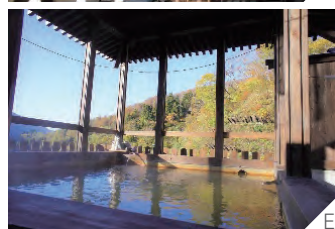
また、隣接する糸魚川市から、先人の歩いた塩の道が整備されており、妙高市へは林道が冬期を除く限定期間でつながっており、協議会の一員としてこの国立公園内での絆を深めていきたいところであります。

当村では、雨飾山において携帯トイレの普及を進めており、ロングトレイルも視野に入れておりますが、世界に誇れる観光地となるためには、まだまだ課題が多くあろうかと感じております。この協議会による今後の行動計画を通じた活動がさらに広く深化し、妙高戸隠連山国立公園のファンが一人でも多く増え「日本の遊学舎」となりうることを祈願し、5年間の歩みに対しまして感謝と敬意の言葉といたします。



小谷村長
中村 義明

長野県 小谷村 Otari Village



- A：日本百名山の1つ「雨飾山」
- B：鎌池とブナ林
- C：雨飾山女神の横顔と妙高戸隠連山
- D：国登録有形文化財「山田旅館」
- E：秘湯「小谷温泉」

長野県小谷村は「緑と雪と温泉のふるさと」をキャッチコピーとしている、人口2,704人(令和3(2021)年8月31日現在)の小さな村です。

村の一部が2つの国立公園に指定されており、その中でも妙高戸隠連山国立公園内には、日本百名山の一つ雨飾山、ブナ林が並ぶ鎌池、秘湯小谷温泉、国登録有形文化財に登録されている山田旅館などたくさんのスポットがあります。そこから生まれた数々の伝統は地域の方々により大切に守り続けられてきています。

- ・面積：267.91km²
- ・人口：2,704人
(令和3年8月31日現在)
- ・世帯数：1,204世帯
(令和3年6月30日現在)

小谷村



Message 土屋 俊幸 連絡協議会構成員 挨拶



東京農工大学 名誉教授
土屋 俊幸

私と妙高戸隠連山国立公園とのお付き合いは、個人的には高校時代の昭和45(1970)年に始まります。林間学校で当時の妙高村大字関山にあった寮に泊まり、妙高山登山や笹ヶ峰でのハイキングなどを楽しみました。翌年冬には初スキーも体験しました。私にとってこの地域は、その後の人生における自然との付き合い方を方向づけるととても大事な場所だったのです。

私と妙高戸隠連山国立公園との公的なお付き合いの始まりは、平成27(2015)年3月18日に開かれた第1回妙高戸隠地域協働型管理体制検討会でした。この会合に専門家として呼ばれ、「国立公園の協働型管理と地域振興」という題名でお話ししました。

Message 海津 ゆりえ 連絡協議会構成員 挨拶



文教大学 国際学部 教授
海津 ゆりえ

本協議会の委員就任の相談を受けた時、最初にしたのは地図帳を開くことでした。トレイル歩きはするものの登山をしてこなかったため、山の名を聞いても風景が浮かばなかったのです。その後「一目五山」を見歩いたり、善光寺から戸隠神社まで歩いたりするうちに、この地の自然と人が織りなしてきた文化や歴史の深さを知り、驚き続けました。今はこの協議会の一員であることを誇りに思っています。

本協議会は、環境省が新しい国立公園の管理のあり方として打ち出した「協働型管理運営」を実現するための「総合型協議会」の早期事例です。国立公園に関する全ての計画事項を話し合うため、総会、幹事会、部会と会議体は多く、出席者も桁違いに大勢です。形骸化しやしないかと不安でしたが、メンバーのふとした発言に、誇りや気概を感じることも多くあります。

当初は国立公園全域でエコツーリズム推進法の認定を取得することを夢見いてましたが、制度上、6市町村それぞれが推進協議会を結成する必要があることから先送りとし、フォトコンテストの実施やロングトレイルの開設など、活用の形が目に見える事業に舵を切りました。潔い方向転換は正解だったと考えています。現在は「あまとみトレイル」と名付けたロングトレイルの全線開通に向けて産みの苦しみの最中にあります。これまでは構想と設計の段階でしたが、いよいよ管理運営計画と運用に踏み切ります。協働の真価が問われるのはこれからです。

大所帯を一つにまとめるには3つのことが必須と考えています。食べること、語ること、訪れること。要は相互に知り、理解することからです。共に、協議会場が地域自慢の展覧会場になったらすごいことになるでしょう。コロナ明けにはそんな提案もしてみたいと考えています。



つまり新国立公園の分離・独立の直前からのお付き合いになります。この検討会は連絡協議会の体制を検討するために作られたものなので、連絡協議会にはその誕生から関わったことになります。

連絡協議会では、有識者の構成員として、総会、幹事会、各部会に参加させていただき、また妙高山・火打山の入域料収受制度立ち上げ、妙高連峰登山道の保全整備・維持管理体制の検討にも加わらせていただいています。しかし、では何かこの国立公園に貢献できたかという、??が付きます。開き直って言えば、私のような地域に居住しない研究者の役割は、なるべく長く関わり続けること、そして行政と地域みなさんが繋がることをお手伝いすることだと思っています。

妙高戸隠連山国立公園の試みは、全国に誇れるものです。これからも末永く続けていきましょう。

Message 奥 敬一 連絡協議会構成員 挨拶



富山大学 学術研究部
芸術文化学系 教授
奥 敬一

協議会の発足から5年余の間、自然公園の地域協働型管理というまだそれほど前例の多くない取組に、関係各位が積極的に参画され尽力されてきたことに、あらためて敬意を表します。

私自身は協議会設立以降からの参加ということで、設立準備段階からの関係者の熱意を肌で感じてきたわけではありませんが、現地視察に始まり、幹事会、各部会での真摯な議論に引っ張られるような形で、ここまで参加を続けてきたように思います。

私の専門分野に関して言えば、行動計画の重点項目「良好な景観形成」の中に、10年後に目指す姿として「当公園らしい景観が保全活用され、景観でメシが食えている状態」と書き込んだことは、非常に野心的な目標でした。その目標へ向けてひとつの助走として取り組んだのが「『一目五山』の絶景32選発掘フォトコンテスト」(平成29(2017)年度事業)です。

コンテストの審査委員長として32選を紹介するパンフレットに寄せた総評には「この32選を見て、もっといいところがある、こちらも負けてないぞ、とあちこちから優れた風景が名乗りをあげて、風景自慢を繰り広げてほしいのです。そして、その風景の中でなりわいを続けている人たちは、この風景を作っているのは自分たちだということもどんどん誇ってほしいのです。それが妙高戸隠連山国立公園を訪れる人たちへの最高のもてなしにつながるのだと思います」と記しました。

新型コロナウイルスの影響で助走からの踏み切りには水を差されてしまいましたが、なりわいを続けることですぐれた風景が作られ、その風景がなりわいに付加価値をもたらすという好循環をこの国立公園で展開していけるように、微力ながら今後も協議会活動をサポートしていきたいと思っています。

● 日本で32番目に誕生した国立公園

国立公園は、日本を代表するすばらしい自然の風景がある場所で、妙高戸隠連山国立公園は平成27(2015)年3月27日に誕生した、日本で32番目の新しい国立公園です。以前は「上信越高原国立公園」の一部でした。

National
Parks
of Japan



● 山岳信仰息づく一目五山の風景

個性的な形の火山と非火山の山々が狭い範囲に混在し、山麓には高原や湖沼が点在する風景が、日本を代表する風景のひとつであると評価され、分離独立しました。狭い範囲に火山・非火山が集まってかたちづくる様子は「一目五山」と呼ばれ、独特の風景を生み、山深い豪雪地帯での暮らしは、山岳信仰や暮らしの知恵を育みました。緑いっぱいの高原や輝く湖沼、四季折々の美しい田園と共に眺める「山岳信仰息づく一目五山の風景」、この風景こそが、妙高戸隠連山国立公園の自慢の風景です。

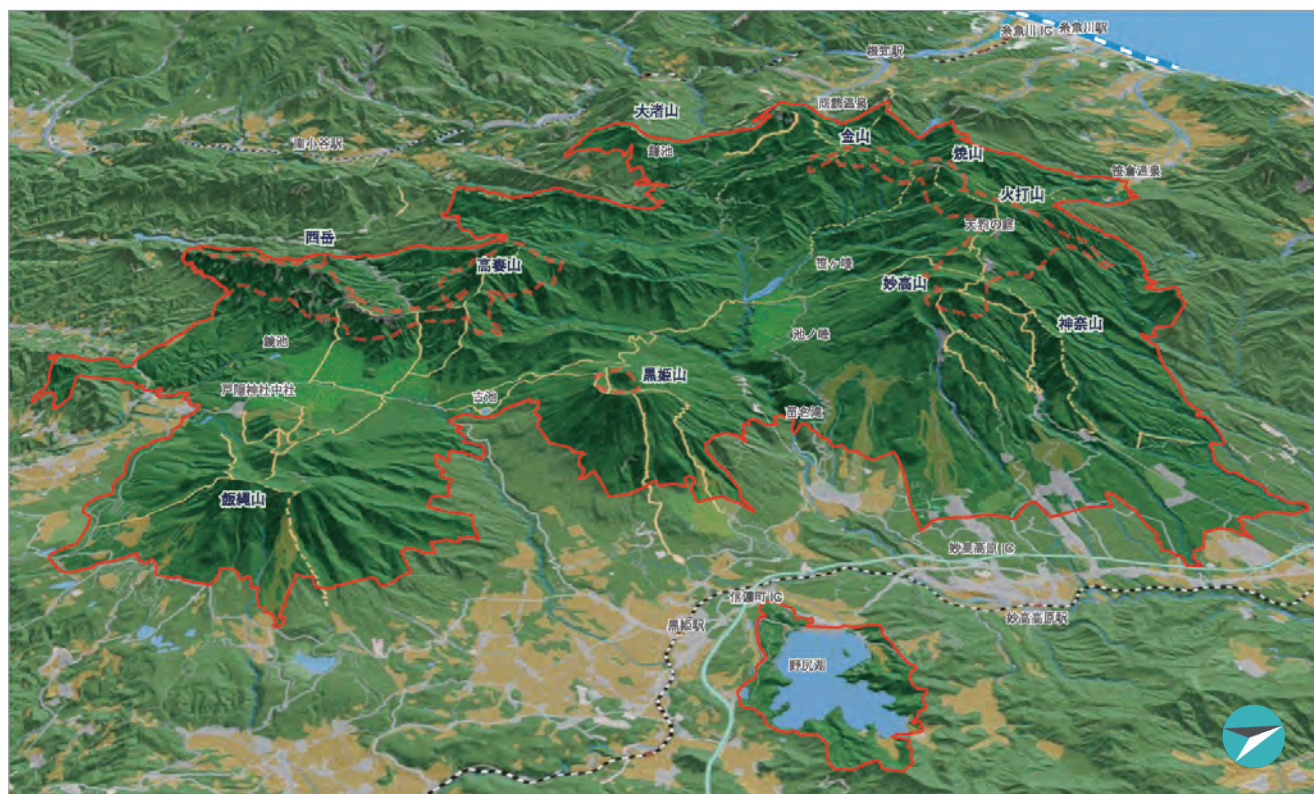
国立公園とは？

国立公園は、「日本を代表する素晴らしい自然の風景がある場所」です。

全国で34か所あり、日本の国土の約5.8% (令和2(2020)年度現在) を占めています。

日本の国立公園は、多くの民有地を含んで指定されています。大自然のみならず、人々の暮らしや伝統、文化にもふれられることが大きな特徴です。

次の世代も同じ感動を味わい楽しむことができるように、優れた自然を守り、後世に伝えていくべきところであり、そのために、保護し管理していく必要があります。



〔 妙高戸隠連山国立公園の基本情報 〕

- ・公園面積：39,772ha
- ・関係市町村：3市2町1村
新潟県：糸魚川市、妙高市
長野県：長野市、小谷村、信濃町、飯綱町

● 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会について

国立公園は、自然の保護・保全が前提にありますが、国立公園の自然を活かし、利用者のニーズを踏まえて適切に利用をすることで、さらに保護・保全を進める仕組みづくりをすることが大切です。

国だけでなく、地域の関係者と国立公園の目指すべき目標(ビジョン)を共有して、連携を図りながら、保護・保全と適切な利用を進める協働型管理運営のため、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」を平成28(2016)年に設立しました。

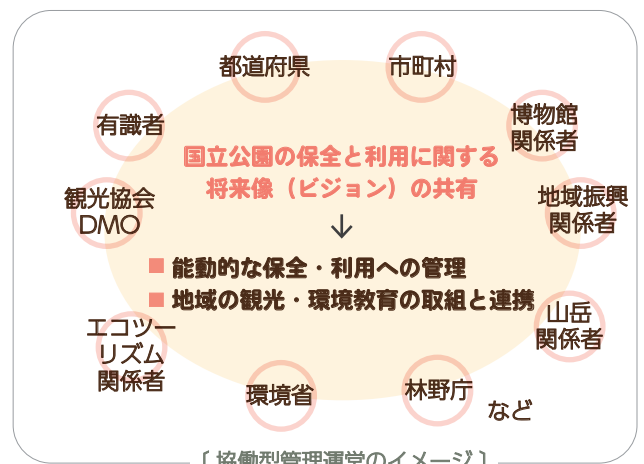
妙高戸隠連山国立公園連絡協議会では、主に次にあげる4つの事業に取り組んでいます。

- 1 ビジョン、管理運営方針及び行動計画に関する事項
- 2 自然環境の保護と利用に関する情報の共有化
- 3 広域的に取り組むべき課題の検討及び解決
- 4 その他、本会の目的を達成するために必要な事項

協議会では、国立公園のビジョン、管理運営方針、行動計画、地域のルールなどについて、関係者が検討し、取組を進めています。

● 構成員 ●

有識者、エコツーリズム関係者、地域振興関係者、博物館関係者、山岳関係者、観光協会・DMO
市町村、県、林野庁、環境省 ほか
(詳しくは15ページ参照)



「一目五山」とは？

～ 火山・非火山の結集地が生んだ絶景 ～



当国立公園内には、個性的な形の山が多く、「一目」ですぐにわかる山がたくさんあります。「五」は「たくさん」の意味。

「五山」は決まった山ではなく、2つ以上の山が一目で見えていればそれが「一目五山」の風景です。

平成27(2015)年の国立公園誕生を記念して作った造語であり、この美しい風景を、多くの皆様に知っていただきたいと考えています。

● 協議会の主な取組



◆ 妙高戸隠連山国立公園が誕生

- 平成27(2015)年3月27日に日本で32番目の国立公園として、妙高戸隠連山国立公園が誕生しました。

● 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会を設立

- 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会を設立
- 協議会規約、国立公園のビジョンと管理運営方針を承認
- 妙高戸隠連山国立公園総合ガイドブックをリリース

- ロングトレイルのメインルートの検討開始
- 「一目五山の絶景32選及び審査員特別賞3点」を選定！
- 火打やまナビの運用スタート
- 近自然工法登山道整備講習会を実施
- ローカル版オフィシャルパートナーシップの検討開始



H29年度当時の
ロングトレイル
メインルート検討案

- 管理運営計画(許認可等取扱方針)の承認
- 国立公園内のサイン統一デザイン基準(誘導標識、アイキャッチ、ピクトグラム)の検討開始
- ロングトレイルのメインルートの検討開始
- 「妙高戸隠連山国立公園『一目五山』の絶景32選発掘フォトコンテスト」開催
- 「一目五山の絶景32選及び審査員特別賞3点」を選定！
- 火打やまナビの運用スタート
- 近自然工法登山道整備講習会を実施
- ローカル版オフィシャルパートナーシップの検討開始
- エコツアー先進地(日本一の星空：長野県阿智村)を視察

(年度)

平成26
(2014)

妙高戸隠連山国立公園
指定記念シンポジウム
(妙高市webサイトより)



- ◆ 妙高戸隠連山国立公園運営体制検討会議を開催
- ◆ 妙高戸隠連山国立公園指定記念シンポジウムなどの記念イベントを実施

平成27
(2015)

- 協議会設立に向けて、妙高戸隠連山国立公園運営体制検討会議を開催
- ビジョン、管理運営方針の検討の開始、地域ごとの意見交換会(妙高地域、野尻湖・黒姫地域、糸魚川・小谷地域、戸隠・飯綱高原地域)も開催
- 妙高戸隠連山国立公園指定記念シンポジウムなどの記念イベントを実施
- 妙高戸隠連山国立公園山登りマップを発行



ロングトレイル踏査

平成28
(2016)

平成29
(2017)

良好な景観づくりに関する
勉強会 in 赤倉温泉



- 「妙高戸隠連山国立公園 森遊び！ 2Daysフェア」を実施
- 「良好な景観づくりに関する勉強会 in 赤倉温泉」を開催

平成30
(2018)



- 協議会のホームページ、facebookを開設
- 「妙高戸隠連山国立公園 森遊び！ 2Days フェア」を実施、延べ1,400名が来場！
- 「良好な景観づくりに関する勉強会 in 赤倉温泉」を開催、地元の25名が参加！
- 「良好な景観づくりの手引き」を発行
- 「一目五山の絶景32選の写真展」を5か所で開催、以降継続開催中
- ジオパークガイド向け勉強会(糸魚川ユネスコ世界ジオパーク)を開催
- ロングトレイルの安全な利用のためのサイン配置基本計画を策定



妙高戸隠連山国立公園
森遊び！2 Days



子どもパークレンジャー

令和元年
(2019)

- 令和3(2021)年度にロングトレイルの一部開通を目指し、名称とシンボルマークを早期に決定することを決定
- 火打山・妙高山地域で地域自然資産法に基づいた入域料の導入
- 妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会の開催

- 妙高市が希少野生動植物保護条例を制定
- 令和3(2021)年度にロングトレイルの一部開通を目指し、名称とシンボルマークを早期に決定することを決定
- 妙高戸隠連山国立公園指定5周年記念イベント「森遊びSNS写真投稿キャンペーン」を実施、1,000件を超える投稿の中から入賞作品20件を選出
- 火打山・妙高山地域で地域自然資産法に基づいた入域料の導入
- 妙高高原ビジターセンターの建て替えが始まる
- 妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会の開催、以降継続開催

令和2
(2020)

- サイン統一デザイン基準(案)を確定、携帯トイレ関連ピクトグラムを日本で初めて作成！

携帯トイレブース

携帯トイレ回収ボックス



- サイン統一デザイン基準(案)を確定、携帯トイレ関連ピクトグラムを日本で初めて作成！
- ロングトレイル、長野駅～笹ヶ峰～野尻湖～斑尾山山頂区間のルート、笹ヶ峰～小谷温泉～塩の道～系魚川区間の継続検討を決定
- 「妙高戸隠連山国立公園 森遊び！2 Days」を実施
- 環境省ホームページ「国立公園へ出かけよう！」に おすすめコースを新たに5つ追加
- 系魚川地域でのエコツアーのモデルツアーを実施、マニュアルも作成・公開
- 子どもパークレンジャー事業による発表会を実施



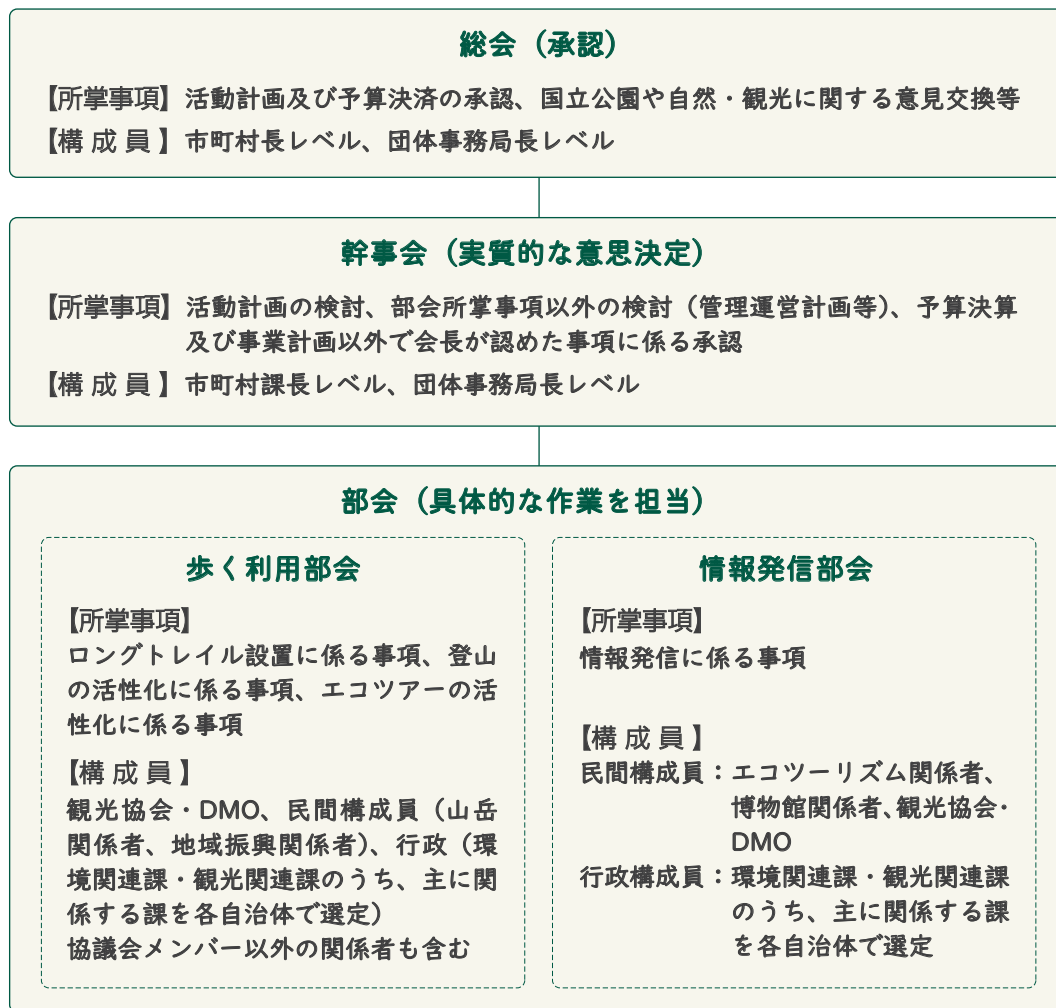
協議会連携、各構成員主導の さまざまな取組も継続中！



ライチョウの生息環境保全のための
イネ科植物除去作業

- 火打山におけるライチョウの保全
(生息環境改善、モニタリング、市民参加型調査、地元小学生対象の教育、等)
- ニホンジカなどの鳥獣被害対策、状況把握調査、等
- いもり池、笹ヶ峰高原、大谷地湿原などで外来種対策
- 戸隠地域でエコツアー勉強会、系魚川地域でジオガイドの勉強会、等
- 携帯トイレの普及啓発。小谷地域での携帯トイレ関連取組の活発化、地元小売店で、戸隠オリジナルデザインの携帯トイレも販売
- 火打やまナビの運用
(令和3(2021)年1月20日時点のダウンロード数:841人)
- 国立公園のフェイスブックの積極運用

● 協議会の体制



● 総会構成員（2022年3月時点）

■市町村	・糸魚川市長 ・妙高市長 ・長野市長 ・信濃町長 ・飯綱町長 ・小谷村長	■博物館関係者	・糸魚川フォッサマグナミュージアム 館長 ・野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長
■県	・新潟県県民生活・環境部長 ・長野県環境部長	■山岳関係者	・元高谷池ヒュッテ 管理人 ・戸隠登山ガイド 組合 代表
■林野庁	・上越森林管理署長 ・北信森林管理署長 ・中信森林管理署長	■観光協会・DMO	・一般社団法人 糸魚川市観光協会 会長 ・一般社団法人 妙高ツーリズムマネジメント 会長 ・一般社団法人 戸隠観光協会 会長 ・一般社団法人 飯綱高原観光協会 会長 ・一般社団法人 信州しなの町観光協会 代表理事 ・一般社団法人 飯綱町観光協会 会長 ・一般社団法人 小谷村観光連盟
■環境省	・信越自然環境事務所長	■各部会長	・歩く利用部会 部会長
■エコツーリズム関係者	・NPO法人 GOZAN 自然学校 代表	■有識者	・東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸 ・文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ ・富山大学 学術研究部 芸術文化学系 教授 奥 敬一
■地域振興関係者	・小谷温泉旅館組合 代表		



● これまでの会議実施日等

(年度)

平成27
(2015)

妙高戸隠連山国立公園管理運営体制検討会議

- ・ 9 / 29 第1回検討会 環境省長野自然環境事務所(長野市)
- ・ 11 / 24 第2回検討会 同上
- ・ 3 / 18 第3回検討会 同上

地域ごとの意見交換会(ビジョン案や管理運営方針案に反映)

- ・ 12 / 10 妙高地域(10名) 妙高高原メッセ(妙高市)
- ・ 12 / 15 野尻湖・黒姫地域(16名) 信濃町総合会館(信濃町)
- ・ 1 / 21 糸魚川・小谷地域(14名) 糸魚川市民会館(糸魚川市)
- ・ 1 / 25 戸隠・飯綱高原地域(13名) アゼリア飯綱(長野市)



ビジョン案検討(H27)

平成28
(2016)

- ・ 7 / 19 設立総会 ホテルメルパルク長野(長野市)
- ・ 10 / 31 第1回幹事会 アゼリア飯綱(長野市)
- ・ 12 / 20 第1回情報発信部会 長野自然環境事務所(長野市)
- ・ 1 / 13 第2回幹事会 妙高高原メッセ(妙高市)
- ・ 2 / 8 第2回情報発信部会 長野自然環境事務所(長野市)
- ・ 3 / 2 第3回幹事会 中部森林管理局大会議室(長野市)
- ・ 3 / 16 第2回総会 赤倉観光ホテル(妙高市)



意見交換会(糸魚川・小谷地域)(H27)

平成29
(2017)

- ・ 8 / 31 第1回歩く利用部会 長野自然環境事務所(長野市)
- ・ 9 / 11 第1回幹事会 飯綱福祉センター(飯綱町)
- ・ 11 / 20 第2回歩く利用部会 長野自然環境事務所(長野市)
- ・ 12 / 22 第1回情報発信部会 同上
- ・ 1 / 19 第3回歩く利用部会 同上
- ・ 2 / 13 第1回エコツーリズム部会 同上
- ・ 3 / 22 第2回幹事会 糸魚川市民会館(糸魚川市)
- ・ 3 / 22 総会 長野市芸術館(長野市)



総会(妙高市)(H28)

地域ごとの意見交換会(ビジョン案や管理運営方針案に反映)

- ・ 11 / 30 野尻湖・黒姫地域(10名) 信濃町総合会館(信濃町)
- ・ 12 / 7 飯綱高原地域(11名) アゼリア飯綱(長野市)
- ・ 12 / 12 妙高地域(22名) 妙高高原保険センター(妙高市)
- ・ 2 / 26 戸隠地域(6名) 中社公会堂(長野市)



総会(長野市)(H28)

平成30
(2018)

- ・ 6 / 26 第1回幹事会 雨飾荘(小谷村)
- ・ 9 / 14 第1回歩く利用部会 信越自然環境事務所(長野市)
- ・ 1 / 25 第2回歩く利用部会 同上
- ・ 2 / 18 第1回情報発信部会 同上
- ・ 3 / 5 - 第2回幹事会 一茶記念館(信濃町)
- ・ 3 / 15 総会 書面開催
- ・ 3 / 28 結果報告 書面開催



幹事会・現地視察(小谷村)(H30)

令和元年
(2019)

- ・ 10 / 1 第1回歩く利用部会 信越自然環境事務所(長野市)
- ・ 12 / 3 第1回情報発信部会 同上
- ・ 1 / 30 第2回歩く利用部会 同上
- ・ 2 / 14 第2回情報発信部会 同上
- ・ 3 / 9 - 幹事会 飯綱町民会館(飯綱町)
- ・ 3 / 16 総会 書面開催
- ・ 3 / 28 結果報告



情報発信部会(長野市)(R2)

令和2
(2020)

- ・ 10 / 20 第1回歩く利用部会 一茶記念館(信濃町)
- ・ 12 / 15 第1回情報発信部会 同上
- ・ 1 / 25 第2回歩く利用部会 戸隠農村環境改善センター2階ホール(長野市)
- ・ 2 / 18 第2回情報発信部会 同上
- ・ 2 / 18 幹事会 WEB開催
- ・ 2 / 18 総会 同上



総会(WEB開催)(R2)

● ビジョン

協議会では、妙高戸隠連山国立公園に関わる方々の共通する目標として、「妙高戸隠連山国立公園のビジョン」を検討し、決定しました。



〔基本理念〕 温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれ、大事にされてきた自然と文化があります。これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかける「温故知新」の精神により、より良い国立公園として後世につないでいきます。

また、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、新たな国立公園となった今、地域皆が協力してきめ細かな国立公園づくりを行うことで、そこに暮らす・暮らしていた人々は「住んでよかった・この地に帰りたい」、訪れる人々は「行ってみたい、行って良かった」と思えるような、日本一愛される国立公園を目指します。

魅力 「山岳信仰と人々の暮らし息づく、一目五山の風景」です。

役割 「色鮮やかな自然があり続けることと、日本一の“自然×文化”の遊学舎(まなびや)であること」です。

保全・利用目標

「先人が築き守ってきた自然と文化を、私たちが自信をもって子供たちに引き継ぐこと」です。

● 管理運営方針

ビジョンを実現するため、地域皆で取り組むべきことの方角性を共有して、同じ方向を向き、役割分担しながら進めていくために、「妙高戸隠連山国立公園管理運営方針」を協議会で検討し、9つの取り組むべき施策の方角性を決定しました。



1 北限のライチョウをはじめ、豊かな生物多様性保全の取組をすすめます

2 妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観保全の取組をすすめます

3 登山を活性化させる取組をすすめます

4 自然や文化で遊び・学ぶ体験活動を活性化させる取組をすすめます

5 癒しの場となるような取組をすすめます

6 「世界に誇れる観光地」となるよう、観光地としての資質を高める取組をすすめます

7 地域ぐるみで積極的に情報発信し、「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やす取組をすすめます

8 「故郷、妙高戸隠連山国立公園」となるような取組をすすめます

9 協働による取組をすすめます



● 行動計画

協議会では、妙高戸隠連山国立公園に関わる方々の共通する目標として、「妙高戸隠連山国立公園のビジョン」を検討し、決定しました。行動計画は定期的に見直し、改定していく予定です。

重点事項	現状の主な課題	短中期の主な目標 (達成年度の目安)	10年後に目指す状態
生物多様性の保全	・地域一体となった生物多様性保全活動の不足 ・科学的知見の蓄積や共有不足	・当公園の生物多様性地域戦略の策定(案) (5年後程度)	市民・研究者・行政が一体となって保全活動を実施し、生物多様性がエコツーリズムに活用されている状態
良好な景観形成	・問題意識と価値付けの不足 ・公園計画や管理計画が景観保全に貢献不足	・特に設けない	当公園らしい景観が保全活用され、景観でメンが食えている状態
歩く利用の活性化	・長距離自然歩道を含め、歩く利用の不足 ・協働体制の未構築	・ロングトレイルの開通 (3年後程度)	ロングトレイルを多くの利用者が利用し地域活性と郷土愛の醸成に貢献している状態
・サインの統一	・デザインや表記の不統一 ・設置箇所の過不足	・サインの統一基準の策定 (1年後程度)	分かりやすく当国立公園らしいデザインのサインが、適所に設置されている状態
・登山の活性化	・管理不足及び整備水準に悩む登山道の存在 ・登山による地域活性化の不足	・登山道管理指針の策定 (5年後程度)	国内外の登山者が安全に登山をすることができ、地域活性化に貢献する状態
エコツアーの活性化	・各ツアープログラムやガイドの、地域間の連携不足、質のばらつきや量の不足 ・広報の限界	・多様なエコツアープログラムと質の高いガイド一体となったツアーの一元的発信 (5年後程度)	多様で質の高いエコツアープログラムが、複業を含む多くの質の高いガイドによって実施され、公園全体の着地型旅行商品として販売されている状態
情報発信の強化	・当公園の名前や魅力が、1つの観光圏として発信されていない	・オフィシャルパートナー制度を活用した集中PR (2年後(平成30年度)) ・指定5周年記念イベント (3年後(平成31年度))	1つの観光圏として、エコツアーを中心とした長期滞在や周遊利用がなされている状態
+ + αの必要な取組			
エコツーリズム推進全体構想の認定地域へ	—	・エコツーリズム推進全体構想の申請 (5年後程度)	当国立公園が、「日本一の遊学舎」となっている状態

● 誕生記念イベント

妙高戸隠連山国立公園の誕生を記念して、平成27(2015)年度に協議会構成員による様々なイベントを実施しました。



妙高戸隠連山国立公園 指定記念シンポジウム

妙高戸隠連山国立公園の誕生を記念して妙高市が開催。



妙高戸隠連山国立公園 指定記念 夏休み自由 研究イベント

当国立公園に関係する4つの博物館(系魚川フォッサマグナミュージアム、妙高高原ビジターセンター、戸隠地質化石博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館)の協力のもと、自由研究のヒントになる野外体験イベントを実施。

新宿御苑みどりフェスタ

みどりの月間にちなんだ自然に親しむ行事にて新しく設立された当国立公園を紹介。



妙高戸隠連山国立公園 誕生記念大スタンプラリー in Autumn

公園の誕生を記念して国立公園内と周辺の6市町村をめぐるスタンプラリーを開催。たくさんの参加がありました。

● シンボルマーク

妙高戸隠連山国立公園の誕生を記念しシンボルマークを制定しました。シンボルマークのデザインを公募し、応募総数264点の中から、シンボルマークを決定しました。シンボルマークは国立公園の各所の看板やサイン、印刷物やwebサイトなど、広く使われています。

最優秀賞

(1点)



優秀賞

(2点)



審査員特別賞

(5点)



● 生物多様性保全

妙高戸隠連山国立公園は、成り立ちの異なる山々の雄大な山岳景観や、多様性に富む動植物など、大自然を満喫できる自然豊かな場所です。協議会では、これらの生物多様性豊かで貴重な自然を守る活動を進めています。

ライチョウ保全



ライチョウは高山帯に生息する日本固有の鳥であり、国の天然記念物です。

火打山は日本最北限の生息地で、日本で最も古いライチョウのルーツと考えられている貴重な個体群が生息しています。

火打山は、ライチョウの日本北限の生息地です。ですが、近年の調査でライチョウの生息環境が悪化していることが分かりました。

協議会では、構成員や有識者、研究機関、市民と協力しながらライチョウの生息環境の調査や、生息環境の保全を進めています。



調査や除去作業は、標高 2000m を超える高山帯で実施されています。



火打山におけるライチョウ保全のため、イネ科植物の除去試験を進めています。実験の結果、イネ科植物を刈り取ると餌となるコケモモが増えることが分かりました。

繁殖力の強い外来種が増えてしまうと、国立公園内の長い時間をかけて作られてきた希少な生態系のバランスを崩してしまう恐れがあります。希少で豊かな国立公園の生態系を守り、後世に伝えていくために、協議会ではオオハンゴンソウやキシノウズ、外来スイレンなどの駆除作業に取り組んでいます。

外来種の駆除



いもり池周辺環境保全
(外来種駆除)
ジョレンによる外来ス
イレンの除去



外来スイレンを防除
する防草シートの設
置作業



笹ヶ峰高原、いもり池
周辺などでのオオハン
ゴンソウの防除



飯綱高原大谷地湿原での
湿原植生の保全
(外来植物(キシノウズ)
の除去)

● 良好な景観形成

国立公園は、日本を代表する優れた自然の風景地です。この優れた景観を守り、さらに磨いていくため、協議会では、ルール・計画づくり、資源発掘や勉強会など、様々な取組を進めています。

一目五山の絶景 32 選の発掘



大賞

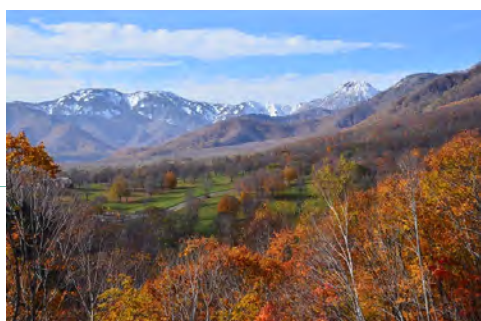
「収穫」
信濃町

平成29(2017)年秋、妙高戸隠連山国立公園のお気に入りの山の風景と農村や湖沼などの風景がセットになった「一目五山の絶景」の絶景スポットを募集しました。そして、32番目に誕生した国立公園を記念し、一般公募及び協議会構成員推薦の写真の中から、32選を選定しました。選ばれた写真は、「一目五山の絶景32選写真展」として、国立公園周辺各地で展示会を実施しています。

地域の風景を楽しみ、誇れる絶景を増やすことが、妙高戸隠連山国立公園を訪れる方への最高のおもてなしにもつながります。

*詳しい情報は、パンフレットや協議会のwebサイトで確認できます。

写真展も開催！



次点

「晩秋」
妙高市



協議会
ホームページ



パンフレット



良好な景観づくり勉強会

平成30(2018)年、赤倉温泉において良好な街並み景観づくりによって集客力を上げるメカニズム、取組のポイントなどについての講演会、フィールドワーク(まち歩き)、ワークショップを通じてその具体的な方法を学び、考える勉強会を開催しました。



講演会・ワークショップ(赤倉ホテル)



まち歩き

良好な景観づくり勉強会in赤倉温泉

景観づくり地域意見交換会

景観づくりの地域ルールである管理運営計画書の許認可等取扱方針について、平成29(2017)年に野尻湖・黒姫地域、妙高地域、飯綱高原地域、戸隠地域で景観づくりに関する意見交換会を行いました。基準の変更、景観への配慮が望まれる事項などに関する意見交換が行われ、管理運営計画づくりに活用されました。



野尻湖・黒姫地域(信濃町総合会館)



妙高地域(妙高高原保険センター)



飯綱高原地域(アゼリア飯綱)



戸隠地域(中社公会堂)



● サインの統一

サイン統一
デザイン基準の作成

国立公園は、日本を代表する優れた自然の風景地です。この優れた景観を損なわず、かつ多くの人に認知されるよう、妙高戸隠連山国立公園内の標識類（サイン類）について標準デザイン、当国立公園で使用するピクトグラム、地名などの英語表記リストについて決めました。

誘導標識（案内板）のデザインの統一

歩道（登山道や散策路など）を対象に、目的地へ誘導する誘導標識について、構造や素材、アイキャッチカラー、使用言語、フォント、ナンバリングについて、協議会で検討し、統一したデザイン基準を作成しました。



DIC60

アイキャッチ カラー

アイキャッチカラーは国立公園内の歩道などに設置する誘導標識に共通して入れる色です。地域性を活かした色、視認性の高い色を協議会で検討し、決定しました。

当国立公園で使用するピクトグラムを選定、作成

外国人利用者や様々な年代の方にも分かりやすい案内ができるよう、当国立公園で使用するピクトグラムを選定しました。中でも、協議会独自の取組として、全国で初めてとなる携帯トイレに関するピクトグラムを作成しました。



携帯トイレブース



ピクトグラム



携帯トイレ回収ボックス



ピクトグラム

携帯トイレ

妙高戸隠連山国立公園では、高山帯の自然環境を守るため携帯トイレの普及活動を進めています。携帯トイレを使う場所となる「携帯トイレブース」と、使用後の携帯トイレを捨てる場所となる「携帯トイレ回収ボックス」について、デザイナーや外国人の意見も取り入れながら検討し、設定しました。

英語表記の統一

国立公園内の各施設で多言語対応が進められていますが、全体的な統一感を持って進められるよう、英語表記について協議会で検討しました。

例	雨飾山（あまかざりやま）	→ Mt. Amakazari
	焼山（やけやま）	→ Mt. Yakeyama
	火打山（ひうちやま）	→ Mt. Hiuchi



*妙高戸隠連山国立公園サイン統一デザイン基準はこちらで確認できます。



● 登山の活性化

携帯トイレの普及啓発

近年、使用済みのトイレ紙や汚物が山に捨てられてしまうことが大きな問題になっています。特にトイレが設置されていない登山道では、携帯トイレの普及に力を入れています。

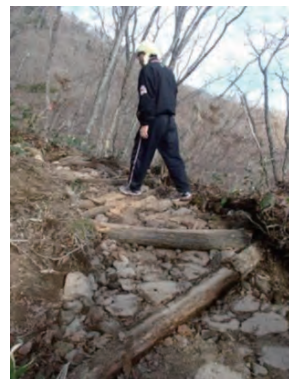


携帯トイレ普及啓発活動 (H29～)



戸隠デザインのオリジナル携帯トイレ

近自然工法による登山道整備講習会



近自然工法は、気候や地形、水の流れなど周辺にあるものを登山道の整備に活かし、歩きやすさだけでなく周辺環境の保全や復元も目指す手法です。

平成29(2017)年から近自然工法による登山道整備講習会を開き、取り組んでいます。



携帯トイレ自動販売機設置 (H29・戸隠地域)



携帯トイレ販売店における啓発用ポップの掲示

登山道の保全整備・維持管理

登山道に関する学術論文発表会を実施したほか、登山道の保全整備・維持管理レベルなどについて、頸城山系の関係者が集まり意見交換会を行って登山道整備の今後について検討を進めています。



登山道の保全整備・維持管理レベル等の意見交換会 (R2～)

学術論文発表会 (H29)
[東京農工大学土屋研究室]

火打やまナビの運用

火打山の登山道に設置されたビーコンを利用して、火打山の自然情報が得られるアプリです。

火打山への理解や親しみを深め、適切な利用と安全を促進することを目的に作成し、運用しています。



* Android スマートフォンをご利用の方 (対応機種 : Android4.3 以降)
→ Play ストアより「火打やまナビ」と検索してインストール

* iPhone または iPad をご利用の方 (対応機種 : iOS9.0 以降)
→ App Store より「火打やまナビ」と検索してインストール



● 多様なエコツアーの推進

妙高戸隠連山国立公園は、日本一の遊学舎(まなびや)を目標に、来訪する皆様を楽しめる多様なツアーやコースを揃えています。糸魚川ユネスコ世界ジオパークなど周辺の様々な魅力ある資源と連携しながら、モデルツアーの検討やエコツアー実施マニュアルの作成、国立公園を楽しむ新たなコースの作成などを進めています。

エコツアーの開発

地域の自然を楽しめるエコツアーを開発するため、意見交換会やモデルツアーを実施しました。また、エコツアー実践マニュアルを作成しました。



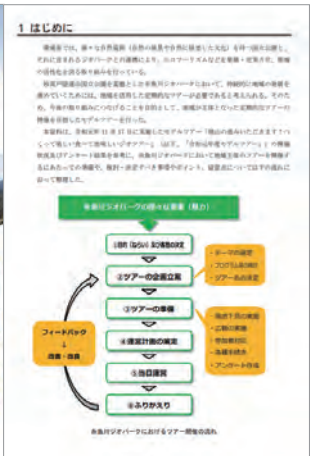
糸魚川ユネスコ世界ジオパーク活用や体制づくりについての地域住民向けの意見交換会 (H30)



糸魚川ユネスコ世界ジオパークを対象としたモデルツアー「つくって楽しい食べて美味しいジオツアー」の実施 (R1)



エコツアー実践マニュアルの作成及び連絡協議会HPへの掲載 (R1)



国立公園を周遊するモデルルートの開発、情報発信

日本の国立公園で実施されるエコツアーを紹介する「日本の国立公園コンテンツ集2021-2022」に合わせて18件のエコツアーと、1件のモデルコースを掲載しています。また、季節毎に国立公園内で実施されるイベントやツアーについて体系的な情報発信を行いました。



妙高戸隠連山国立公園 冬 (H30)
イベント・ツアー情報 (環境省ホームページ)



環境省「日本の国立公園コンテンツ集2021-2022」への掲載

* 日本の国立公園コンテンツ集

● ガイドの育成

良質なエコツアーを提供するため、エコツアーが盛んな先進地域の視察や、モデルツアー開発のための講習会・研修を実施しています。

先進地域への視察



スターコンシェルジュによる星空の紹介を体験

地域のエコツアー関係者による「天空の楽園～日本の星空ツアー」実施主体の阿智昼神観光局(長野県阿智村)視察を実施しました。



阿智昼神観光局の方による講演会

地域資源を活用したエコツアー開発研修

地域資源を活用したツアー構築のモデルとして、戸隠中社竹細工生産組合を中心に協議会構成員が協力して「戸隠竹細工イベント」を実施しました。



戸隠竹細工を活用したモデルツアー

さらに、エコツアーの先進地域である三重県伊勢市の「海島遊民くらぶ(有限会社オズ)」より講師を招き、講演会及び意見交換会を行うとともに、助言を得ながら「かんじきツアー」を試験的に実施しました。



地域資源を活用したツアー開発勉強会

● 地域版 オフィシャル パートナー

地域の企業や団体と協議会が協働を進めるため、「妙高戸隠連山国立公園オフィシャルパートナーシップ」の仕組づくりを進めています。

妙高戸隠連山国立公園オフィシャルパートナーシップが推進する活動

- 自然環境保全に関係する活動
- 国立公園の魅力を発信する活動
- 適正な公園利用の推進に関係する活動
- 協議会の取組への協賛 等

● 情報発信

国立公園の総合的な情報発信



「妙高戸隠連山国立公園」山登りマップ

公園内の6つの登山コースとその魅力を紹介



当国立公園やその周辺地域の魅力・情報を発信するため、山登りマップと総合ガイドブックを作成しました。



妙高戸隠連山国立公園総合ガイドブック

14個の魅力によって、体験できること、楽しめること、学べることを総合的に発信





共同イベントによる 情報発信

当国立公園の各エリアの事業者が、8月の2日間、同時期に一体となって実施する「妙高戸隠連山国立公園 森遊び！2Daysフェア」を実施し、たくさんの方に参加いただきました。イベントは平成30～令和元年(2018～2019)に実施し、令和2(2020)年は新型コロナウイルスの影響のため、SNSを活用した「国立公園で森遊び！写真投稿キャンペーン」を実施しました。



「森遊び！2Daysフェア」として各エリアで、ガイドウォークや自然観察会、クラフトづくり、史跡巡りなどのイベントを実施



当国立公園で「森遊び」をして過ごす写真や思い出の一枚を募集。
1000を超える森遊びの体験の様子が集まりました。



地域と連携した情報発信 子どもパークレンジャー

戸隠小学校や戸隠神社と連携し、子どもたちが地域の魅力を伝えるパンフレットを作成しました。長野駅や戸隠神社で手作りのパンフレットを直接来訪者に手渡しました。(H30～)



webサイト、SNS等 による情報発信

協会のwebサイトのほか、facebookで日々の国立公園の様子やイベントなどの情報発信を進めています。このほか、アクティブレンジャー日記でも日々の活動の様子をお伝えしています。



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会ホームページ



Facebook



アクティブ・レンジャー日記

● あまとみトレイル の設置

「あまとみトレイル」とは、妙高戸隠連山国立公園を中心とした地域の見どころを歩いて回るロングトレイルです。環境省をはじめ、2県6市町村に及び関係自治体、関係機関、民間団体、地域住民の方々と共にルートの検討や調整、整備を進めてきました。現在は、長野駅、斑尾山を起終点として、善光寺、戸隠、黒姫、妙高笹ヶ峰、野尻湖などの各所を結ぶ全長86kmのルートが決定しています。今後さらに、妙高笹ヶ峰から小谷村、糸魚川市方面をつなぐルートも検討しています。

令和3(2021)年10月23日、
決定したルートが開通しました。



*あまとみトレイル
の詳しい情報は、
こちらで確認でき
ます。

ロングトレイルとは？

森林や原野、里山などにある「歩くための道」を、歩く速さで旅するのがロングトレイルです。全線踏破を目指すもよし、気になる場所にフォーカスするもよし。自分たちの体力やルートの難易度に合わせて自由に組み立てて歩きます。

旅をする中では、自然との出会い、人とのふれあいも魅力です。

「あまとみ」とは

あ ま と み
まかざり だらお がくし ようつ

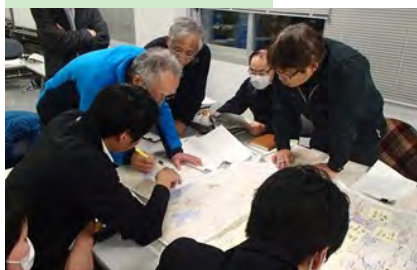
妙高戸隠連山国立公園や周辺を代表する地名である雨飾、斑尾、戸隠、妙高、それぞれの名称から頭文字を1文字ずつとり、「あまとみ」としています。

シンボルマーク



妙高戸隠連山国立公園の特徴である火山、非火山の個性ある山並みがコンパクトにぎゅっと凝縮して存在しているイメージを表しています。ある特定の場所から見た景色などではなく、一目五山(どこからでもたくさんの山々が見られる)というイメージです。

歩く利用部会におけるロングトレイルルートの検討調査 (H28 ~)



有識者による調査を実施 (H30)、ルート検証するための調査を継続中 (H30 ~)



有識者による調査



野尻湖畔



旧道を探る



戸隠牧場



山中の踏査



雨の中の踏査



令和3年、あまどみトレイル一部開通

令和3(2021)年10月23日、決定したルートの一部が開通しました。開通を記念して、記念式典と記念ツアーを実施しました。



あまどみトレイルのルート(一部開通区間)

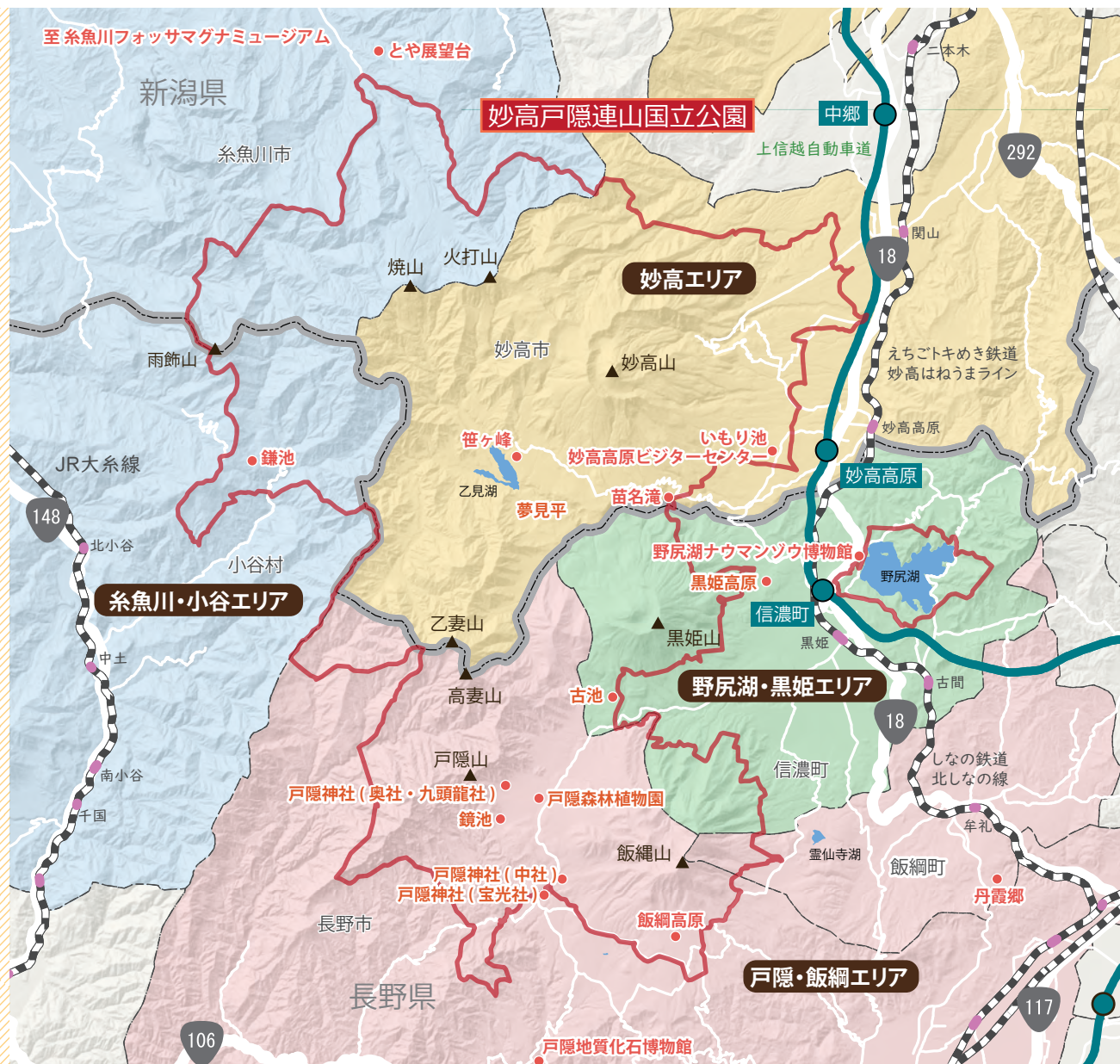


三 妙高戸隠連山国立公園の主な見どころ

山岳信仰息づく

一目五山の風景

妙高戸隠連山国立公園には、山岳だけでなく、高原や湖沼、神社に温泉などたくさんの方の魅力があります。主な見どころを4つのエリアに分けてご紹介します。



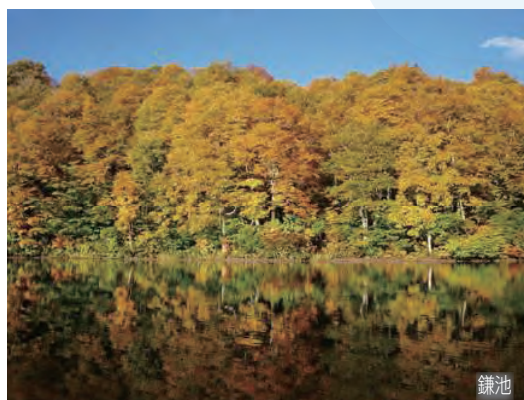
糸魚川・小谷エリア (新潟県糸魚川市、長野県小谷村)

「秘湯とジオパーク」

雨飾山と焼山の麓の高原地帯には、山奥に佇む秘湯や静寂の鎌池、“一目五山”が美しいとや展望台などがあります。糸魚川ユネスコ世界ジオパークでは、大地の営みを実感できます。



糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (とや展望台)



鎌池



秘湯



翡翠 (フォッサマグナミュージアム)

妙高エリア
(新潟県妙高市)

「色々遊べる温泉郷」



いもり池



笹ヶ峰

妙高山の麓の高原地帯には、「逆さ妙高」が美しいもり池、散策路が豊富な笹ヶ峰高原、日本の滝百選の苗名滝、妙高高原温泉郷、スキー場など見どころ満載です。



苗名滝



妙高高原温泉郷



妙高高原ビジターセンター

*令和4年4月本格オープン

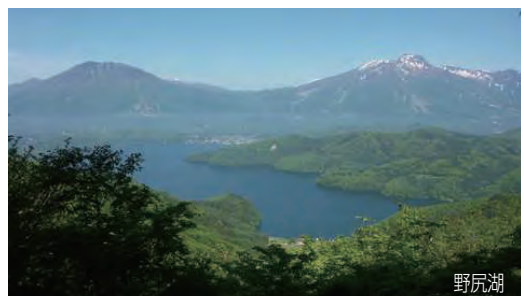
野尻湖・黒姫エリア
(長野県信濃町)

「ナウマンゾウ発掘の湖と
高原の花々」

野尻湖は約7万年の歴史を持つ湖です。ウォーターアクティビティが盛んで、ナウマンゾウが発掘された地として有名です。黒姫高原にはヨーロッパを思わせる風景があり、季節の花々が咲き誇ります。



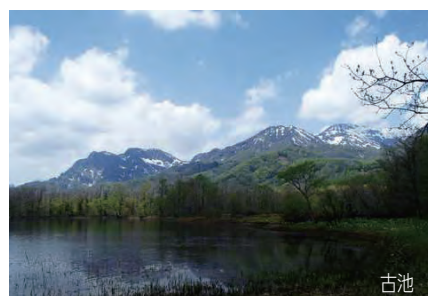
野尻湖ナウマンゾウ博物館



野尻湖



黒姫高原



古池

戸隠・飯綱エリア
(長野県長野市、飯綱町)

「山岳信仰と湿原の花々」

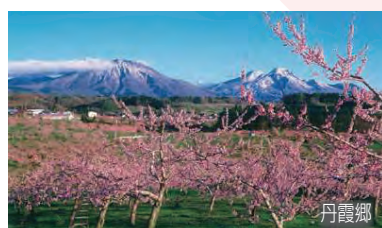
戸隠山や飯綱山の麓の高原地帯には、山岳信仰を伝える戸隠神社、戸隠山を水面に移す鏡池、“一目五山”が美しい丹霞郷などがあります。湿原も豊富で、春の水芭蕉などの花々は見事です。



戸隠神社



鏡池



丹霞郷



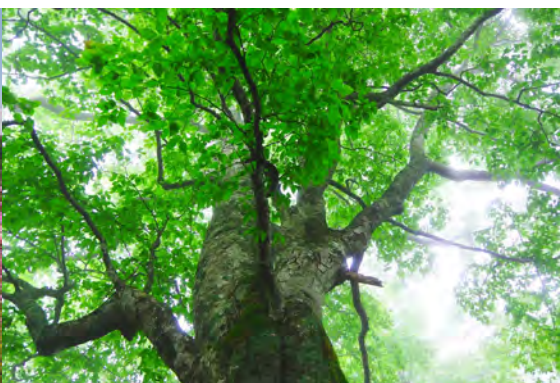
ミスバショウ (戸隠森林植物園)



リュウキンカ (飯綱高原)



戸隠地質化石博物館



≡ 本冊子に関するお問い合わせ先

環境省 信越自然環境事務所

[住所] 長野県長野市旭町 1108
長野第一合同庁舎 3 階

[電話] 026-231-6570



公園
ホームページ



協議会
ホームページ



協議会
facebook

発行元：妙高戸隠連山国立公園連絡協議会

作 成：環境省 信越自然環境事務所

編集協力：株式会社 地域環境計画

令和4(2022)年2月発行

